

日本一美しい山のトイレ休憩所を目指して

— 石鎚山公衆トイレ維持管理のスタッフの合言葉—

5月アケボノツツジが咲き誇り、7月お山開きの大祭、8月夏休みと夏山、10月紅葉を愛でに、休日ともなるとその混雑は大変なものです。

雨の日・風の日「石鎚山トイレ維持管理スタッフ」の腕章をつけて、大きなザックを背負って登りながら、登山者に積極的に話しかけます。「どちらから？」をきっかけに、登山道や季節の花々などの状況提供もしつつ、トイレのアピールも忘れずに「それはご苦労様・・・」と、おおよそ関心を持って励ましていただけます。その会話こそ『日本一美しい山のトイレ休憩所』の第一歩と考えて。

全国の山々もトイレがだんだんきれいになってきています。<決められた場所を利用する。自分のものは自分で持ち帰る>それを推進している山・・・それはひょっとしたら「トレンド」なのかもしれないと思っています。(スタッフ：渡辺)



石鎚山公衆トイレ休憩所報告 ～維持管理の現場から～



♡霧氷の便りが聞かれるようになってきた11月15日、冬期閉鎖のために成就から登りました。石鎚山公衆トイレ休憩所に土小屋からの関係者が合流、手際よく作業を開始します。

凍結による機能不全を防止する大切な作業です。隣の分解槽上にもブルーシートが敷かれます。それにしても寒い。気温は10℃くらいなのに時折冷たい雨が叩きます。普段の作業服にジャンパーで登ってきた業者さんは、震えながらパンをかじっていました。いよいよ冬本番です。携帯トイレブースを上手く活用してもらうことを祈り下山にかかりました。

◆維持管理のスタッフはこんなことをしています

・トイレや休憩所の床掃除やゴミの回収・トイレの掃除・ペーパーの補充・使用済み紙の回収と持ち帰り・分解酵素の投入・カウンターの確認・協力金やクーポン券の回収・情報提供など

◆ 携帯トイレブース(下) ◆
持ち合わせのない人のために
予備も置いています。

●冬期閉鎖中は
携帯トイレの
ブースに開放



●使用済み紙のペールは、すぐこんなになって溢れてしまいます。抑え棒を設置して、利用者にもボランティア(山のボランティア Networkなどの登山者)の皆さんにもペーパー圧縮などをお願いしています。ペットボトル捨てないで!

●忘れ物が多いです
特に携帯電話には困ります。鳴らしてくれたり、連絡がつけばラッキー! タオル・ティッシュ・帽子・いろいろです。



◆新しくなった
協力金入れ◆

盗難事件から1年--現場でも色々な策を講じていただきました。石鎚神社やボランティアでの回収の回数を増やし、スタッフ増員で充実してきました。